

令和7年度 北海道札幌西高等学校 学校経営シラバス

【基本的な考え方】

- 「北海道教育の基本理念」及び「石狩管内教育推進の重点」を踏まえる
- 生徒、保護者の期待及び地域住民や道民の負託に応える
- 全・定の有機的な連携を図る
- 教職員と生徒、保護者の信頼を基盤に、夜間定時制高校をリードする役割を担う

【スクール・ミッション】

- 1 多様な課題を抱える生徒の社会的自立に向け、一人一人が自己の成長を実感できる教育の推進
- 2 北海道の夜間定時制高校をリードするため、一人一人の能力を最大限引き出す教育システムの確立
- 3 集団生活や特別活動等を通じて、コミュニケーション能力や豊かな人間性を身に付けた生徒の育成
- 4 健康的な生活習慣を身に付け、自ら考え主体的に判断し行動できる生徒の育成

【校訓】

自由 自律 叡智 創造

【学校教育目標】

- 1 自ら考え、自ら学び、自ら鍛える教育
- 2 人間相互の理解と信頼を深め、調和的成長をめざす教育
- 3 責任を重んじ、豊かな社会性と公正な判断力を養う教育

【育成を目指す資質・能力に関する方針】

- 1 既存の知識・技能を関連付けたり組み合わせたりすることができ、社会の様々な場面で活用できる力の育成
- 2 知識・技能を活用しながら問題を解決していくために必要となる思考力、情報を選択し、結論を決定していくために必要な判断力、伝える相手や状況に応じた表現力の育成
- 3 自己の感情や行動を統制する能力、自らの思考のプロセス等を客観的に捉える力、多様性を尊重する態度と互いのよさを生かして協働する力の育成

【教育課程編成・実施に関する方針】

- 1 少人数でわかる授業を実施するとともに、観点別学習状況の評価のためのルーブリックを活用し、生徒一人一人の多様な学習ニーズに応じた教育活動を通し、基礎学力の定着を図る
- 2 「総合的な探究の時間」などの探究活動を通して、コミュニケーションに関する分野や学習能力に関する分野において、各種トレーニングを取り入れながら、あらゆる状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等を育成する
- 3 学校行事や生徒会活動など特色ある教育活動等を通して、チャレンジ精神を高め、主体的・協働的に取り組む姿勢を養う
- 4 インクルーシブ教育の理念を踏まえ、多様な体験活動やライフスキルトレーニング等の活用を通し、きめ細やかな生徒観察と教育相談の充実により、基本的な生活習慣を身に付けさせ、自律的に行動する姿勢を養う

【入学者受入に関する方針】

- 1 目標に向かって絶えず努力する生徒
- 2 自分で考え正しく判断し、進んで行動できる生徒
- 3 進路目標実現のための学力を身に付けようとする生徒

【経営方針】

- 1 協働体制の確立による校内組織の活性化及び教職員の学校経営参画意識の高揚を図り、「働き方改革」を推進する。
- 2 教育DX化による「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、基礎的・基本的な学習内容を確実に育む教育課程の改善・充実に努める。
- 3 教職員と生徒、保護者の信頼を基盤に、保護者や地域住民の視点や、全国的に優れた教育実践等を参考とした改善を進め、学校の更なる魅力化を推進する。
- 4 地域や企業、高等教育機関等との連携の強化による探究的な学習やキャリア教育の充実を図り、主体性や社会性を育む教育活動を展開する。

【重点目標】

- 1 働き方改革の推進
(重点事項1) 協働体制の強化
○ 学年、分掌、教科、部活動の各チームにおいて、互いに業務の進捗状況を確認し合い、必要に応じて業務の分担を見直すとともに、見通しと共通の目標を持って業務を遂行する。
(重点事項2) 教職員の意識改革
○ 一般市民の目線を意識し、保護者や地域住民の視点で考えとともに、教師のこれまでの働き方を見直し、自らの授業を磨き、生徒たちに対して効果的な教育活動を行うことができるようにする。
- 2 基礎的・基本的な学習内容の確実な定着
(重点事項1) 個に応じた指導の充実
○ 授業の中で生徒一人一人の実態に応じ個別指導やグループ別指導、繰り返し指導、TT指導など指導方法や指導体制を工夫・改善し、生徒の個に応じた学習ニーズに適応した指導を推進する。
(重点事項2) 特別な支援を要する生徒へのきめ細かな対応
○ 学習面や行動面あるいは対人関係に困難を抱えている生徒一人一人の実態を正確に把握し教職員間の情報の共有化に努め、一人一人に対応した、きめ細やか指導と支援を充実させる。
- 3 魅力ある学校づくり
(重点事項1) PTAや学校評議員など関係団体等との連携
○ 学校評議員に対して教育方針や特色ある教育活動、学校評価などについての意見を把握し、教育活動の改善を進める。また、様々なPTA活動やホームページ等を活用した広報活動を通して、生徒の状況や教育活動の現状について情報発信し理解や協力を得る。さらに輔仁会、PTAなどの支援団体から生徒の教育活動に対する支援体制を確立する。
(重点事項2) 法令遵守と説明責任の徹底
○ 法令や通知等を遵守するとともに、家庭、地域への十分な情報提供を行い、信頼される学校づくりを推進する。
- 4 主体性や社会性を育む教育活動の充実
(重点事項1) 系統的なライフスキル教育の推進
○ 日常で生じるさまざまな問題や要求に対して、建設的かつ効果的に対処するために必要な能力であるライフスキルを身に付ける教育を系統的に実施する。
(重点事項2) 生徒の多様な分かれ方を活かす授業づくり
○ 多様な学習歴のある生徒一人一人が理解しやすい指導方法や指導形態を研究・工夫して、生徒のできる、わかる喜びを実感できる授業づくりを推進する。